

(広報資料)

平成 1 5 年 1 2 月 1 0 日
建 設 局
(担当 街路部立体交差課
2 2 2 - 3 8 5 3)

「京阪本線淀駅付近立体交差化事業」にかかる 高架デザインについて

本市では、京阪本線淀駅周辺の交通渋滞が著しいことから、交通渋滞を緩和するとともに周辺住民の方々の利便性の向上と地域の発展に寄与するため、淀駅付近立体交差化事業に取り組んでいますが、この度、京阪本線淀駅の高架デザインがまとまりましたので、お知らせします。

今後、建設段階において高架デザインの基本的な考え方を十分に反映させ、事業を進めます。

(高架デザインの考え方)

淀地域が歴史的にも「水」と深い関わりをもっていることから、「水」との関わりに配慮したデザインとしている。

1 駅の外観

駅前広場に面した壁面にガラス等を採用し、水の清らかな透明感を表現

2 駅プラットホームの屋根

日照に配慮して住宅地側を低く、競馬場側に開いた非対称形とし、プラットホーム全体を大きな空間で覆い、穏やかな水の流れを表現

高架デザインは、本事業により建設する駅や高架構造物が、地域のまちづくりと調和するとともに地域の 1 つのシンボルとなるデザインとしていくために、学識経験者の指導・助言のもと検討を行ってきたものです。

(事業概要)

- 1 区 間 伏見区淀木津町～納所下野
- 2 延 長 約 2 km (うち高架区間 1, 4 7 0 m)
- 3 主要施設 淀駅 (島式ホーム面 2 面・4 線)
- 4 除却踏切 3 箇所 (下津・淀・池上踏切)
- 5 構 造 高架橋
- 6 関連施設
 - (1) 緩衝側道 淀駅南側道線 延長 7 9 0 m, 幅員 6 m
淀駅北側道線 (自転車歩行者道) 延長 5 7 0 m, 幅員 6 m
 - (2) 駅前広場 約 3, 0 0 0 m²
 - (3) 自転車等駐車場 高架下に設置
- 7 経 過 平成 8 年度 事業調査着手
平成 1 1 年度 工事協定締結, 準備工事着手
現 在 用地買収, 高架工事, 埋蔵文化財発掘調査を実施中

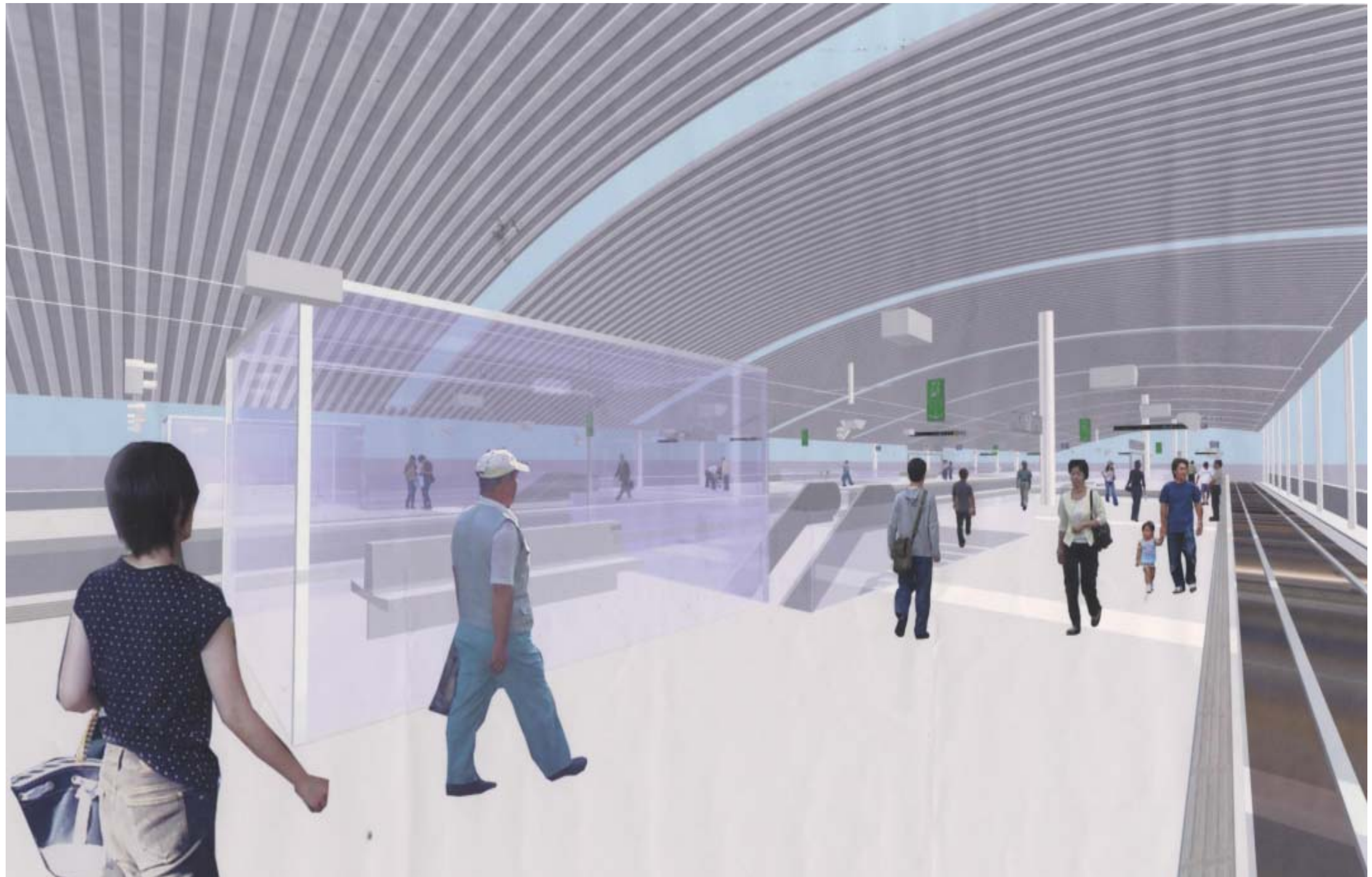


完成イメージ図

駅前広場側正面からみたイメージ図



プラットホーム階のイメージ図



京阪本線淀駅付近立体交差化事業の概要図

- ・区 間：京都市伏見区淀木津町～伏見区納所下野
- ・延 長：約2km（うち高架区間1,470m）
- ・主 要 施 設：淀駅（島式ホーム2面・4線）
- ・除 却 踏 切：3箇所（下津・淀・池上踏切）
- ・構 造：高架橋
- ・関連都市施設：緩衝側道（淀駅南側道線：延長790m・幅員6m）
（淀駅北側道線＜自転車歩行者道＞：延長570m・幅員6m）
- 駅前広場（約3,000㎡）
- 自転車等駐車場（高架下に設置）



縦断面図



○：出入口予定箇所